

中嶋茂夫氏 × 玉川光昭氏 コラボセミナー

「利用者急増中の Twitter & FaceBook 活用術」

主催：(社) 全国住環境改善事業協会「ビジネス研究会」特別セミナー開催 (チャリティーセミナー)

FaceBook(フェイスブック)を使いこなしていますか?実際に何をどうやったらビジネスが動き出すのか、中にはその使い方すらわからない方もおられるかもしれません。

そこで、FaceBookの第一人者である中嶋茂夫氏を招いて勉強会を開催いたします。特に今回、実際に取り組みの実績がある工務店玉川社長もゲストスピーカーとしてお招きし、活用例をうかがいます。玉川社長は、福島県南相馬市で東日本大震災に被災。FaceBookとTwitterを活用しつつ、今も復興支援に奔走中です。ますますお客様と仲間からの信頼厚いお二人の貴重なお話を、お聞き逃しなく!



<このセミナーでわかること>

- Facebook ページが何がわかる ●Facebook ページの作り方がわかる
- 個人プロフィールページとは何をどうすれば良いかがわかる。
- アメブロや Twitter との連携方法がわかり、Facebook を満喫できます。

■日時 4月22日(金) 10:30~18:00 (受付 10:00~)

■場所 新横浜 富士火災海上保険(株) 横浜支店会議室

神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目4-19 富士火災横浜ビル
新横浜駅より徒歩約5分(出入口5番)

■費用 1社2名まで3万円(追加一人1万円)

※チャリティーセミナー……収益の一部を直接被災地の皆様へ支援金として送らせていただきます。

■定員 100名(定員になり次第締め切らせていただきます)

■申込 本紙にご記明の上「4月15日必着」でFAX・mailにてお申込みください。

*当日はPCやモバイル、スマートフォン環境をお持ちになると、より有効です。

プログラム(10:00~開場受付)	
10:30~12:30 ツイッターとクラウドシステムの紹介	WEBマーケティングコンサルタント中嶋茂夫
13:30~16:30 FaceBookの活用方法	
16:30~18:00 FaceBook・ツイッター被災地で実践活用紹介	有限会社玉川工務店 玉川光昭

●申し込み欄

貴社名			(社) 全国住環境改善事業協会 事務局
ご住所	〒	本部(株)スズコー内)〒241-0001 神奈川県横浜市旭区上白根町1107-5	
ご参加者氏名		TEL	TEL:045-951-8076 FAX:045-951-8087
ご紹介者氏名		FAX	事務局携帯電話 090-6095-9574 URL:http://jukankyo110.net

申込み先

FAX

045-951-8087

Email

【講師プロフィール】

●中嶋茂夫（なかじま しげお）

1967年生まれ。大阪市出身。京都工芸繊維大学繊維学部高分子学科卒業後、ニューヨークのファンション工科大学 Apparel Production Management 学科卒業。SEO対策、LPO対策を中心にソーシャルメディアを利用した「中小企業を元気にするため」のインターネット集客コンサルティングを行っている。特にブログのビジネス活用の第一人者で「無料ブログSEOバイブル（翔泳社）」「アメブロだからできるパワーブロガーになって夢を叶える方法（ソシム）」「アメブロをカスタマイズ 魅せるブログデザインを作ろう！（ソシム）」のブログ本で成果を出したクライアントが続出！「好きなことをビジネスにすること」のアドバイスが得意。



●玉川光昭（たまがわ みつあき）

1973年福島県生まれ。有限会社玉川工務店代表取締役。玉川光昭建築設計事務所管理建築士。一級建築士・一級建築施工管理技士・宅地建物取引主任者・ファイナンシャルプランナー。福島県南相馬市在住。東北大学工学部建築学科を卒業後、設計事務所を経て、平成12年より家業である（有）玉川工務店の専務取締役に就任、平成17年に代表取締役に就任。

東日本大震災にて被災、生後2ヶ月の赤ん坊を含む4人の子供とともに避難所生活を今も続けている。現在は横浜市にて避難中。震災後、自身のTwitter及びFaceBookで被災地の生の声を発信し続けマスメディア等でも大きく取り上げられる。現在も避難中でありながら被災地の復興のためにソーシャルメディアでの情報発信を続ける。

facebook

アカウント登録 Facebookを使うと、友達や同僚、同級生、仲間たちとつながりを深められます。ケータイ、スマートフ

ログインしたままにする

玉川工務店社長 玉川光昭 いいね!

著者

ウォール 玉川工務店社長 玉川光昭・ハイライト

玉川工務店社長 玉川光昭

被災地南相馬報告。震災から2週間以上がたち、世間では恐らくこの悲惨な出来事が少しずつ忘れ去られようとしているのだろう。私自身も避難生活を続けている。4人の我が子のうち末の三女は避難生活のなかで生後3ヵ月目を迎える。今なお現在進行形で原子力災害と戦っている我が地元、南相馬。今私が出きることは、twitterとfacebookで多くの人に南相馬のことを知らせ、有益な情報を仲間たちに還元する事。一定の効果は確信できた。だから私はいかなる批判があろうとも発信を続ける。発信する事は私の義務だと思っている。

震災体験者で福島県南相馬市から避難されている玉川社長から

「震災報告と今後の復興へ向けて」の報告がいただけます。 <http://twitter.com/tamagawakmtn#>